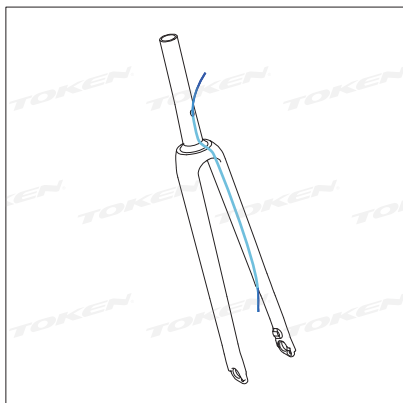


1. ヘッドセットパーツをヘッドチューブ、フロントフォーク各所にグリスを塗布し、組み付けます。上下のヘッドセットベアリングは45度の面取り部を下ベアリングは上側へ、上ベアリングは下側に向けて取り付けます。スペーサーを使用した高さ調整の最大調整高は40mmです。

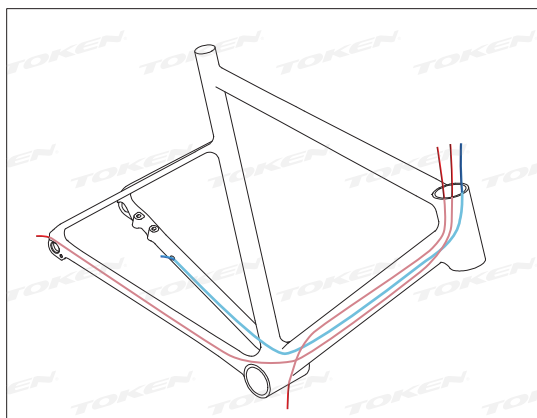
ステムをコラムに取り付け、ステム上部の平線に沿ってラインを引きます。その後1つ目のラインから3mm下に平行線を引きます。この2つ目の平行線がコラムの切断ラインです。

2. フロントフォークをガイド1.で引いた切断ラインに沿ってコラムを切断してください。また、安全のため切断面のバリを取り除いてください。

3. ブレーキアウターケーブルをフロントフォークレッグの出口穴からフォーク本体を通してルーティングします。ブレーキラインをもう一方の端から引っ張り、ブレーキキャリパーと適切なポジションで組み立てられる位置まで引きます。これでフォークの準備は完了ですが、この段階ではフレームに組み付けないでください。

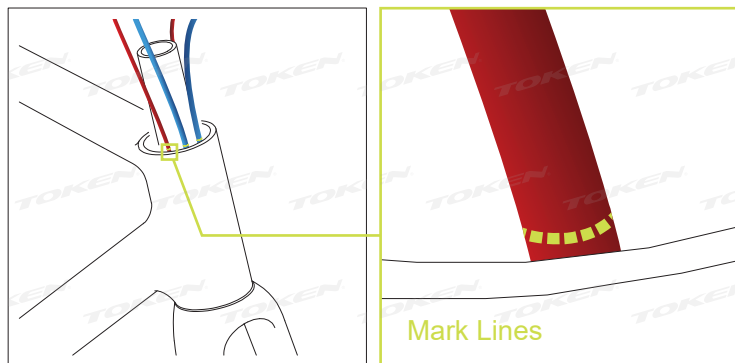


4. リア用シフトアウターケーブルをフレーム側の出口穴（リアディレイラー側）からダウンチューブを通してヘッドチューブ上部の出口から出します。リアブレーキ用アウターも同じ手順でルーティングします。



5. ヘッドチューブからリアケーブル類を引き出します。その後、反対側のケーブル端がブレーキやディレイラーの組み立て位置に収まるよう調整します。

6. 下部ヘッドセットベアリングを組み付けた状態でフロントフォークをヘッドチューブに挿入します。その後、シフトアウターとブレーキアウターにヘッドチューブ上部の位置をマーキングします。



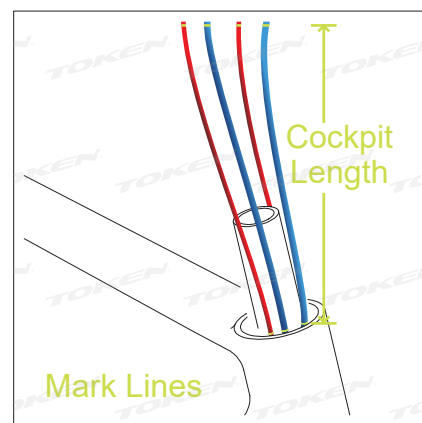
7. "コックピット長"を測定し、各アウターケーブル類にマーキングします。

"コックピット長"とは次の2つ（aとb、それぞれの長さの合計）を指します：

- a. ステム長
- b. 下チャートは ハンドルバー幅に対するケーブルルーティーンに必要なケーブル長（参考）

[例] ステム長が110mmで、ハンドルバー幅が420ミリの場合、"コックピット長"は11cm + 35cm = 合計46cm

ハンドルバー幅	36cm	38cm	40cm	42cm	44cm
対応する "b" の長さ	32cm	33cm	34cm	35cm	36cm



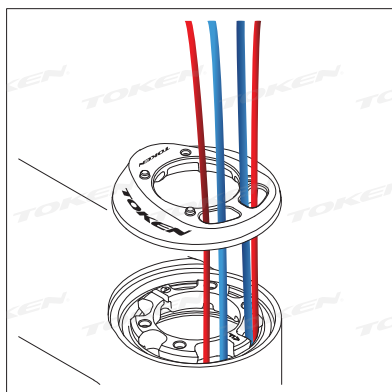
8.

シフトアウターケーブルとリアブレーキケーブルをヘッドセットベアリングとトップカバー（防水シールが付いています）へ通します。

トップカバーの各ケーブル通し穴は、それぞれシフトケーブル用（4mm）とブレーキケーブル用（5mm）が収められる設計になっています。

通す配置は決まっており、次のようにする必要があります：一番左側のケーブル通し穴にはリアシフトケーブルを、次にリアブレーキケーブル、フロントブレーキケーブル、フロントシフトケーブルの順番に通します。シフトケーブルはできるだけ曲げ角度が緩やかになるよう、最も外側の左右に配線される設計になっています。

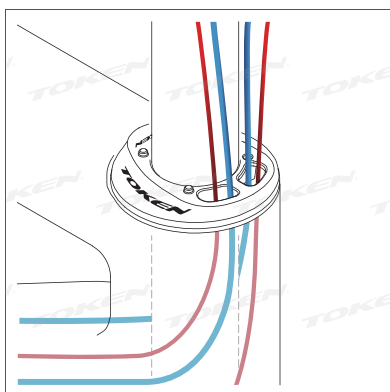
すべてのケーブル類がトップカバーとヘッドセットベアリングを通ったことを確認してください。



9.

ヘッドセットのコンプレッションリングを取り付けます。コンプレッションリングはトップカバーと上部ベアリングの間に配置します。リング上の「F」マークが自転車の前方を向くようにし、すべてのケーブルがトップカバーの2つの通し穴に対応する正しいくぼみに収まるようにしてください。

ステアラーチューブをヘッドチューブに通す際、トップカバーの左側の通し穴を通るケーブル類はステアラーチューブの同じ（左）側に通します。右側のケーブル類も同様に右側に通してください。



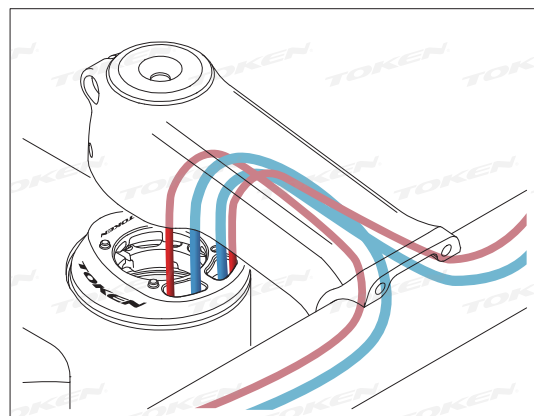
10.

ケーブル類の配線

シフトアウター及びブレーキアウターをハンドルバーのセンター穴に通す際、2グループ（上グループと下グループ）に分けて配線します。

ステムやハンドルバーの通し穴付近はバリがある可能性がありますのでご注意ください。

Park Tool製 IR-1などのツールを使用すると、本作業が容易になります。



11.

ヘッドセット、ハンドルバー、ステム、およびスペーサーの取り付けを完了します。通常、ここではヘッドセットエキスパンダーが必要です。ハンドルバーを左右に数回回して、ハウジング/ブレーキラインによる制限がないかどうかを確認します。

12.

ハンドルバーの好みの位置にシフターを取り付け、次に各シフターケーブル/ブレーキケーブルの切断マークが適切な位置にあるかを確認してください。必要に応じてカットマークの位置をわずかに変更してください。

13.

配線セットアップがすべて終わりましたら、シフターケーブルとブレーキワイヤーを適切な位置で切断し、次にディレイラーとブレーキの調整に移ります。



インストール
ビデオ



修理ビデオ